

# DX戦略概要

---



**TAJIMA**

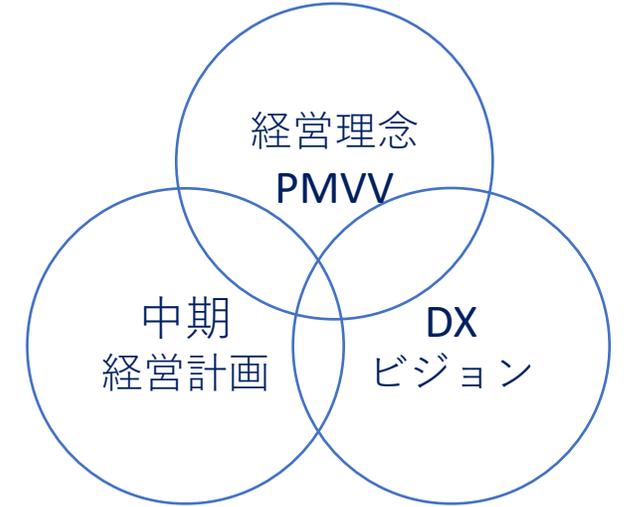
田島工業株式会社

代表取締役社長 海老原 寛子

# 1. 経営とDXの方向性

## (1) 策定の背景

- これまでの弊社が納めた様々な産業機器。これらは、お客様の操業の基盤として大切なものです。
- 2024年10月にパーパス、ミッション、ビジョン、バリュー(PMVV)を定め、「お客様と共に操業環境を創造する」をパーパスに掲げています。
- また、「中期経営計画」を策定し、計画期間3か年における基本戦略を「人を育てシステムに投資し、成長基盤を整える」としました。



DX  
ビジョン

- 弊社の「PMVV」の実現のため、デジタル技術を活用します。
- お客様とメーカー双方に対して、価値を提供できるよう、DXに取り組みます。
- ビジョンで定めた、問題の最適解を探求するためデジタル技術を活用します。
- これまでの業務で培った経験をデジタル技術を活用し、業務の標準化、共有化、データの蓄積に取り組み、サービス水準の向上を目指します。

# 1. 経営とDXの方向性

## (2) 弊社のPMVVに基づくDX方針

方針	内容
DXの主たる目的	業務の標準化・共通化、データの蓄積・活用を通じて、顧客提供価値を高める
デジタル技術の活用による 操業環境の進化	顧客機器の管理をデジタル技術を活用し「お客様と共に操業環境を創造する」を進める
データドリブンな問題解決 と最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「問題の最適解を探求し、お客様とメーカーを繋ぐ」を実現</li> <li>- データ分析を活用し課題発見と解決を迅速化</li> <li>- IoT・AIによる設備のリアルタイム監視と予防保全を拡大</li> </ul>
リカーリングモデルの進化・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>- サステイナブルに貢献する「田島のリカーリングモデル」をDXで強化・拡大</li> <li>- 保守・点検のデジタル化により、長期的なパートナーシップを構築</li> </ul>
DXを通じた組織の強化と 価値創造	<p>「常にあたり前の先へ」 → AI・自動化等の活用による業務効率化</p> <p>「長期的な関係と価値追求」 → データ活用で顧客価値向上</p> <p>「社員の幸せとチーム力」 → デジタルツール活用で働きやすい環境整備</p>

# 2.DX戦略

## (1) 現状のDXの課題と課題解決に向けた戦略

業務の流れに沿った情報管理や見積作成、顧客担当ごとの情報管理等の課題を、販売管理等の刷新やその他システム導入を進め、全体的な業務見直しや情報共有できる仕組みを設け、スムーズな業務、チームでお客様にご対応できる環境づくりを進めます。

	課 題	戦 略
1	業務体系毎に分かれた機器情報管理	機器情報の社内共有化により、機器の状況のデータをもとに「リカーリングモデル」の進化・拡大させる。
2	属人化された受注業務	販売管理等の有効活用を通じ、業務の標準化・分業が可能となり、業務の効率化を図り、提案価値向上を図る。
3	属人化された顧客情報の蓄積	顧客情報の蓄積と共有化により、組織としてデータを蓄積・活用し、持続的案提案力の向上を図る。
4	既存業務を中心とした人材育成	検討を通じ、DX・GX視点の人材育成を行い、社員の成長を後押しする。

# 2.DX戦略

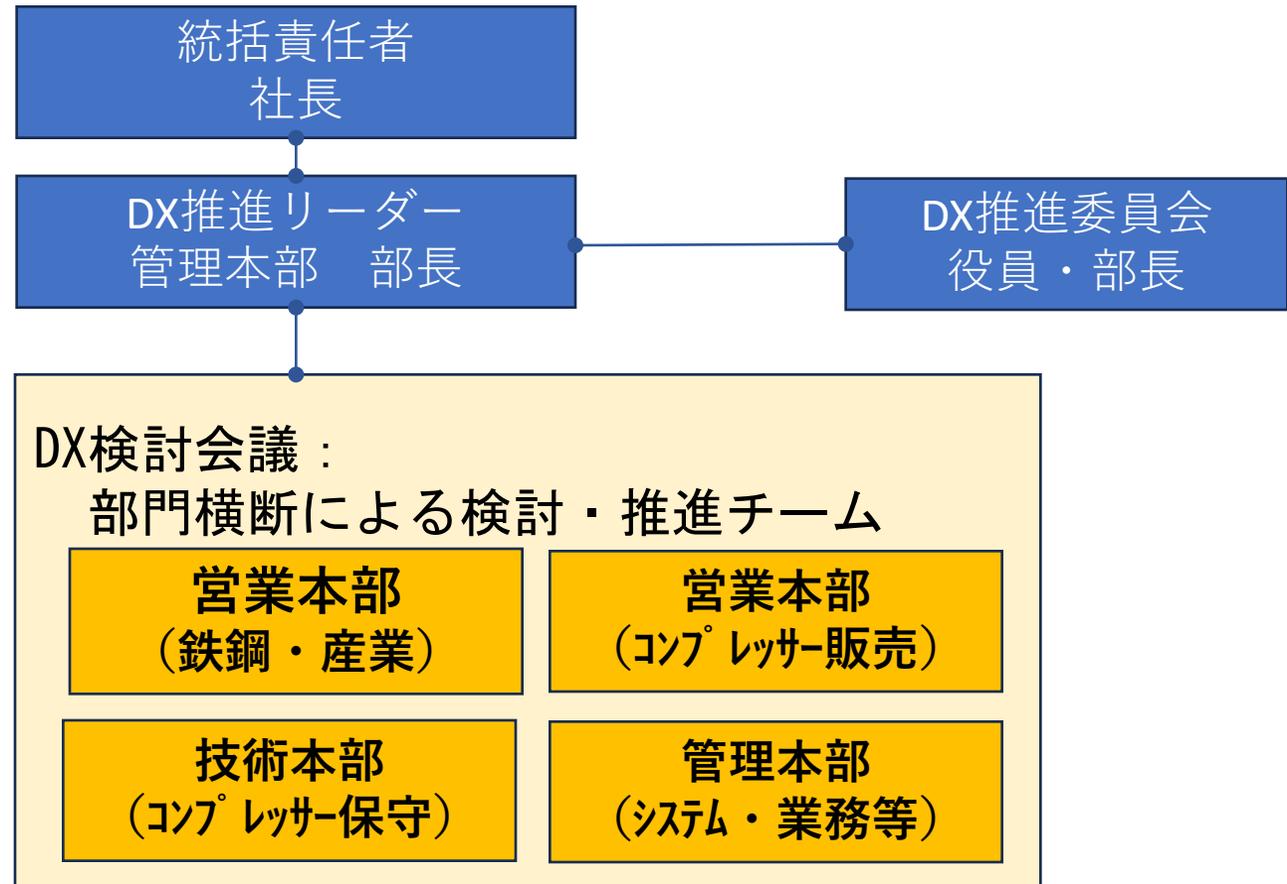
## (2) 環境整備の具体的方法

	戦 略	施策	期待される効果
1	機器情報の社内共有化により、機器の状況のデータをもとに「リカーリングモデル」の進化・拡大させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入履歴、メンテナンス履歴、故障情報等一元管理</li> </ul>	情報活用をした付加価値提案 メンテナンスや故障等のスムーズな対応
2	販売管理等の有効活用を通じ、業務の標準化・分業が可能となり、業務の効率化を図り、提案価値向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務の標準化</li> <li>・ 販売管理等のシステムの有効活用と連携</li> </ul>	現状より早いレスポンス
3	顧客情報の蓄積と共有化により、組織としてデータを蓄積・活用し、持続的提案力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業プロセスの標準化・可視化</li> <li>・ アクションにつながる情報整理</li> </ul>	顧客情報の蓄積により社内・社外対応の最適化・付加価値提案
4	検討を通じ、DX・GX視点の人材育成を行い、社員の成長を後押しする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社内検討を通じた実体験の獲得</li> <li>・ 資格取得奨励制度</li> </ul>	社員の知識向上 お客様へのDX視点での提案

# 2.DX戦略

## (3) 推進体制

### 田島工業（株）DX推進体制



# 3.DX戦略達成の指標

期待される効果と指標を定め、4つのDX戦略に取り組みます。

	戦 略	期待される効果	指 標
1	機器情報の <b>共有化</b>	情報活用をした付加価値提案 メンテナンスや故障等のスムーズな対応	機器情報が一元管理できるシステム改修
2	販売管理等の拡張を通じた業務の <b>標準化</b>	主要な製品、部品、整備見積の 標準化による業務効率化	標準的な製品見積・整備見積の登録数
3	顧客情報の蓄積と <b>共有化</b>	顧客情報の蓄積により社内・社外対応の最適化・付加価値提案	顧客情報が蓄積できるシステム構築 データの登録割合
4	検討を通じた、DX・GX視点の <b>人材育成</b>	社員の知識向上 お客様へのDX視点での提案	IT、DX関連資格取得者割合 関連研修受講者割合

# 4.DX人材の育成

DX戦略に基づく研修や資格、OJTを通じたDX・GX視点の人材育成に取り組みます。

## 研修・資格等による人材育成

- IT・DX関連資格者育成のため、推奨研修を定め、受講を促す。  
ITパスポート、DX経営アドバイザー等
- 資格に関するお祝い金支給規定を見直し、DXに関する民間資格等を追加し奨励する。
- 研修にかかる費用を会社負担にて受講を進める。

## OJTを通じた人材育成

- 社内横断的な検討会議を設け、様々な世代が参加することで、検討を通じた知識や視点取得を目指す。
- GX人材育成については、メーカー主催の商材等の講習や社内勉強会、展示会などへの参加を通じて、お客様にご案内できる知識取得を進める。

# 5.セキュリティ対策

DX戦略策定にあたり、セキュリティ対策を推進しています。

- 公的機関による認証の推進：セキュリティアクション2つ星の申請
- 社内設備・サービスに対して継続的なセキュリティ対策
- 社内セキュリティ意識の向上：会社全体説明会を実施
- 取引先等から求められるセキュリティ対策に関する報告
- 「情報セキュリティ基本方針」を作成し、社内・社外周知